

学校・地域・企業の連携によるキャリア教育

～中学生による職場体験の成果をフリーペーパーにまとめる“job job”

“job job”プログラムの特徴

職場体験（訪問）を通じて学んだことをフリーペーパーにまとめることを通して、「コミュニケーション能力」の育成をはかるプログラムです。

- 授業のプログラムは、各中学校のニーズに応じて、担当の先生と民間コーディネーターが相談して作り上げます。（各校ごとのオリジナル“job job”が出来上がります。）
- 「導入」（キャリアデザイン）⇒「事前学習」（職業調べ、取材の仕方など）⇒「職場体験」⇒「事後学習」（記事執筆、編集・校正、発表会）といったプロセスを確立することで、職場体験を一過性の体験に終わらせることをせず、しっかりとしたキャリア学習プログラムが確立できます。
- 事前学習及び事後学習には、ホンモノのライター、編集者、カメラマンなどが外部講師として授業に参加、中学生の学習意欲を掻き立てます。



プログラムの基本的な流れ

導入 学習の目的を知る

導入 「中学生からのキャリアデザイン」
（自分を知る）

事前 「リアル職業調べ」
（働く大人に触れ、働く理由を考える）

事前 フリーペーパーの作り方を学ぶ

事前 取材の仕方・撮影の仕方を学ぶ

職場体験

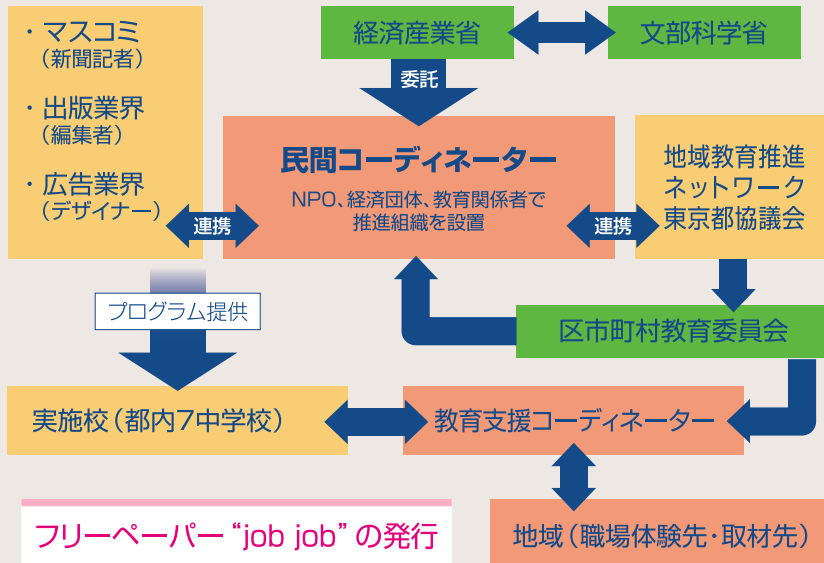
事後 記事を書き、写真を選ぶ

事後 校正をする

事後 ふりかえり・発表会

※授業時数の目安
総合的な学習の時間 20時間程度

事業実施のしくみ



※ 経済産業省「地域自律・民間活用型キャリア教育プロジェクト」とは？

若者のフリーター志向の広がり、新卒早期離職者の拡大などが顕在化している状況下、「いかに学校から職業へつなげるか」が重要になっていることをふまえ、平成16年12月「若者自立・挑戦戦略会議」においてとりまとめられた「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン」において、キャリア教育の推進に関する関係省庁が連携して取り組むことが決定され、平成17年度に経産省が施策化したもの。

職業教育に知見・ノウハウのあるNPOや企業等を「民間コーディネーター」として採択し、子供たちが働く意義、面白さを理解し、真に実社会で生かすことができる「地域に根ざした体系的・効果的・持続的なキャリア教育」の推進・定着を目指している。